

小さな小さな宝石
虫眼鏡で目を凝ら
して見ないと見え
ない

その宝石は虫眼鏡でよくよく目を凝らして見ないと
見えない。

価値にして一粒あたり2000万円である。

しかし小さすぎるのである。

しかし金のわっかで装飾をこらし、指輪やネックレスなどとして販売されている。

とある国に、散りばめられた宝石の山がある。

1人の旅人が発見した。

不思議なことに、
そこだけ上空の空が他と違う。

星の数すら違うのである。いわゆる一種のパラレルワールドである。

そこを訪れた腰の曲がった旅人がこう漏らした。

・・・・・・・・・・ここへ来るために生きてきたよう
なものだ・・・・・・・・・・。

宝石の山の隣の小屋は5階建てで、屋上に小さなソファが一つある。

スマホで検索してみるといい。

すぐに見つかる。

パスポートを西の駅まで取りに行こう。

そしてそこへ出かけよう。

宝石は、現地の人々が大きくて安いものをただで譲ってくれる。

しかし高いものはもちろんやはり商品である。

小さな小さなその宝石は・・・・・・・・・・現地人の生業
(なりわい) なのである。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。